

農中総研Webセミナー

酪農乳業と気候変動対策

～海外の酪農大国にみる生乳生産での
温室効果ガス削減対策～

2025 **1月22日(水)** Zoomウェビナー開催
12:00～13:30

世界人口の増加に伴い、動物性タンパク質の安定供給を担う酪農乳業は重要になる。一方、気候変動からの災害が甚大化し、酪農畜産には温室効果ガスの排出削減も強く求められる。国内でもアミノ酸バランス改善飼料の活用等、新たな取組みは注目される。他方、欧米諸国では、従来型の飼養管理の徹底といった、経営改善も伴うような環境負荷軽減策は多い。日本農業の環境負荷軽減は最重要課題となるなか、資材高騰にあえぐ日本の酪農乳業が、海外の酪農大国の環境負荷軽減対策から得られる示唆は大きい。

農林中金総合研究所

小田志保

主任研究員



申込URL・二次元コード

https://zoom.us/webinar/register/WN_V8YuREssT2a4Tbxhv73kYQ

Contact

(03) 6362-7705
soumu@nochuri.co.jp
福田・高橋・荒牧